



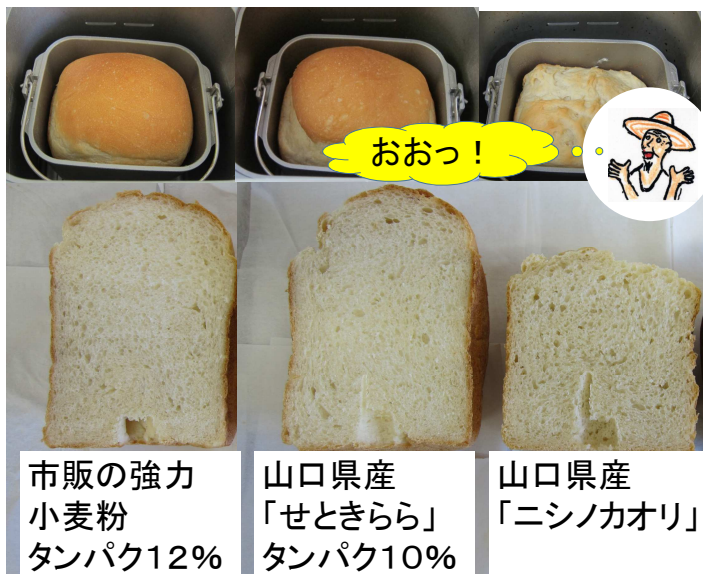
作物学研究分野では、コムギを研究材料に「どうしたら収量を高められるか?」「どうしたら品質を高められるか?」「どうしたら楽に楽しく栽培できるか?」といったことを明らかにします。コムギという作物をよく調べ、これを取りまく環境との関わりを調べます。実際に畑でコムギを栽培し、収穫して収量を調べるとともに、植物体を顕微鏡の下で分解して生育の様子を調べたり、窒素などの化学成分を分析したりします。収穫したものを小麦粉にしておいしいパンが焼けるかどうかを調べます。コムギ・パンの地産地消を目指しています。

研究テーマ

1. 11月に播種する山口のコムギをもっと早く播種する研究
2. 西日本生態型品種の特性を導入して北海道の温暖化対策とする研究
3. 山口県の地産地消パン用コムギ品種「せときらら」をおいしくする研究



九州品種ダイチノミノリは、コムギの栽培に不向きな西日本の環境条件下でも粒を充実させることができる



せときららは、市販の強力粉と同じようによく膨らむ

